

CO・OP共済 地域ささえあい助成 2022年度 団体交流会を開催しました

共催：日本生活協同組合連合会

コ－プ共済連（日本コ－プ共済生活協同組合連合会、代表理事理事長：和田 寿昭）は、2022年10月27日に「地域ささえあい助成 団体交流会」を開催しました。「協働をはじめ、協働をひろめる」をテーマにオンライン開催し、33団体・55名（うち事務局13名、審査委員4名）が参加しました。今年度で「地域ささえあい助成」は11年目を迎えました。団体交流会として3生協・団体からの活動報告およびクロストーク、参加者全員による2回の意見交流を行いました。



【2022年度 団体交流会の様子】

【開催概要】

1. 分散会交流 I		
交流テーマ「助成を受けている活動の内容、活動を進めるなかでの課題や悩み」		
2. 活動報告のご紹介		
活動報告1「SDGsを活かした地域コミュニティづくり」	生活協同組合パルシステム千葉 組合員・産直・コミュニティ活動推進部	丸岡 真吾 氏
活動報告2「『支え愛の店ながえ』を拠点とした生協と米子市永江地区自治連合会協力による地域支え合い活動」	鳥取県生活協同組合 管理本部 組織運営部 総合企画室	岡田 安弘 氏
活動報告3「協働をはじめ～被災地域のコミュニティの再生・繋がり作り事業～」	一般社団法人あまみら	近藤 真平 氏
3. 活動報告への質疑応答 報告団体クロストーク		
報告団体：パルシステム千葉、鳥取県生協、一般社団法人あまみら コーディネーター：日本生活協同組合連合会 組織推進本部 前田 昌宏		
4. 分散会交流 II		
交流テーマ「活動報告・クロストークを聴いて、感想や参考になったこと」		

■地域ささえあい助成概要

本助成は、地域共生社会の実現に向け、生協と生協以外の団体が協働して行う実践的な活動に対して助成するものです。2012年度から開始し、11年目を迎えた2022年度からは、これまでの取り組みを通じて得た知見を元に制度を改定、運用しています。

今後も、生協と地域で活動・活躍される団体が、地域にくらす人々の想いに共感し、地域の困りごとや課題を共有し、それぞれの役割を發揮しながら協働して活動するためのきっかけや後押しとなる制度を目指します。

【2012年から2021年までの助成金額】

年度	助成件数	助成金額
2012	34	2,014万9,000円
2013	38	2,141万6,774円
2014	40	2,058万2,597円
2015	35	1,871万8,336円
2016	38	2,285万1,428円
2017	42	2,492万9,950円
2018	44	2,120万3,306円
2019	44	2,461万2,153円
2020	37	2,176万1,100円
2021	34	2,114万9,612円
合計	386	2億1,737万4,256円

地域ささえあい助成

—生協と生協以外の団体の協働を応援します—

【2021年度支援活動事例】

フードバンクや子ども食堂の取り組み、防災・減災、困窮する学生支援、地域サロン、SDGsを活かした地域コミュニティ作り、がん啓発イベント、難病の子供とその家族への支援活動など。

【交流会でのクロストークの様子】



クロストークでは交流会で発表した3つの団体、協働した生協が参加して、コーディネーターによる活動の詳細や各取り組みの比較などの聞き取りが行われた。

■地域ささえあい助成の詳細は下記をご覧ください。

<https://coopkyosai.coop/csr/socialwelfare/>

お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会 渉外・広報部（担当：大杉・星合）
TEL：03-6836-1320 / FAX：03-6836-1321（平日10時～17時 土日除く）
e-mail：kyosaiinfo@coopkyosai.coop